

# 高病原性鳥インフルエンザ 千葉県で疑似患畜 確認 (全国23例目)

【千葉県(全国23例目)】

千葉県千葉市若葉区 採卵鶏 約35,000羽

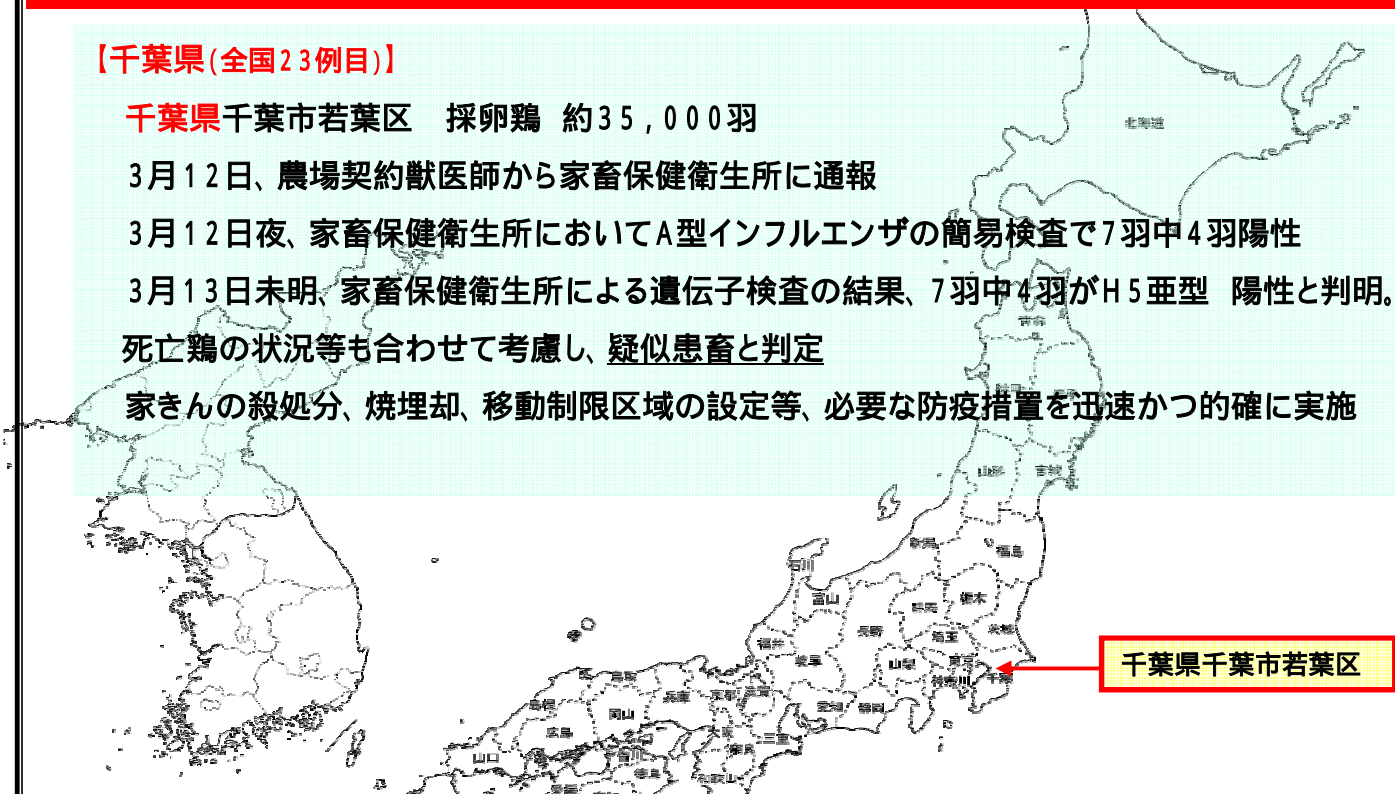
3月12日、農場契約獣医師から家畜保健衛生所に通報

3月12日夜、家畜保健衛生所においてA型インフルエンザの簡易検査で7羽中4羽陽性

3月13日未明、家畜保健衛生所による遺伝子検査の結果、7羽中4羽がH5亜型 陽性と判明。

死亡鶏の状況等も合わせて考慮し、疑似患畜と判定

家さんの殺処分、焼埋却、移動制限区域の設定等、必要な防疫措置を迅速かつ的確に実施



千葉県千葉市若葉区

## 高病原性鳥インフルエンザの侵入・拡散の防止のポイント

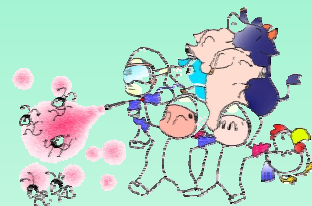
### 飼養衛生管理の遵守と異常発見時の早期通報の徹底

#### 1 農場の衛生管理の徹底 (基本的な飼養衛生管理)

防鳥ネット等、野生鳥獣の侵入防止対策の徹底

農場内専用の衣服、履き物を設置し、出入り時は必要な消毒を実施

鶏の飲用水は、消毒されたものを給与



#### 2 早期通報の徹底

鶏冠・肉垂等のチアノーゼ、沈うつ等本病が疑われる症状を確認した場合

1鶏舎において、死亡羽数が直近3週間の平均死亡羽数と比べて2倍以上に増えた場合

1鶏舎において5羽以上がまとまって死亡しているような場合

その他にも、突然死、産卵率の低下、頸の捻転等神経症場等の異常が確認された場合



連絡先

飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp



# 日本における高病原性鳥インフルエンザの発生状況 《H22年10月～：家きん飼養農家》

：家きん飼養農家

家きんでの発生事例  
全9県 23農場  
約179万羽

**島根県**  
11月安来市：鶏(採卵鶏)20,000羽  
12月5日 防疫措置完了  
12月27日 移動制限解除

**大分県**  
2月2日大分市：鶏(採卵鶏)11,100羽  
2月5日 防疫措置完了  
2月27日 移動制限解除

**愛知県**  
1月26日豊橋市：鶏(採卵鶏)約15万羽  
2月3日 防疫措置完了  
2月25日 移動制限解除  
2月14日新城市：鶏(種鶏)約17,500羽  
2月16日 防疫措置完了  
3月10日 移動制限解除

**鹿児島県**  
1月25日出水市：鶏(採卵鶏)8,600羽  
1月26日 防疫措置完了  
2月17日 移動制限解除

**千葉県**  
3月13日千葉市：鶏(採卵鶏)  
35,000羽 防疫措置実施中

**三重県**  
2月5日紀宝町：鶏(肉用)約67,000羽  
2月21日 防疫措置完了  
2月26日南伊勢町：鶏(採卵)約240,000羽  
3月6日 防疫措置完了

**和歌山県**  
2月15日紀の川市：鶏(採卵)約120,000羽  
2月20日 防疫措置完了

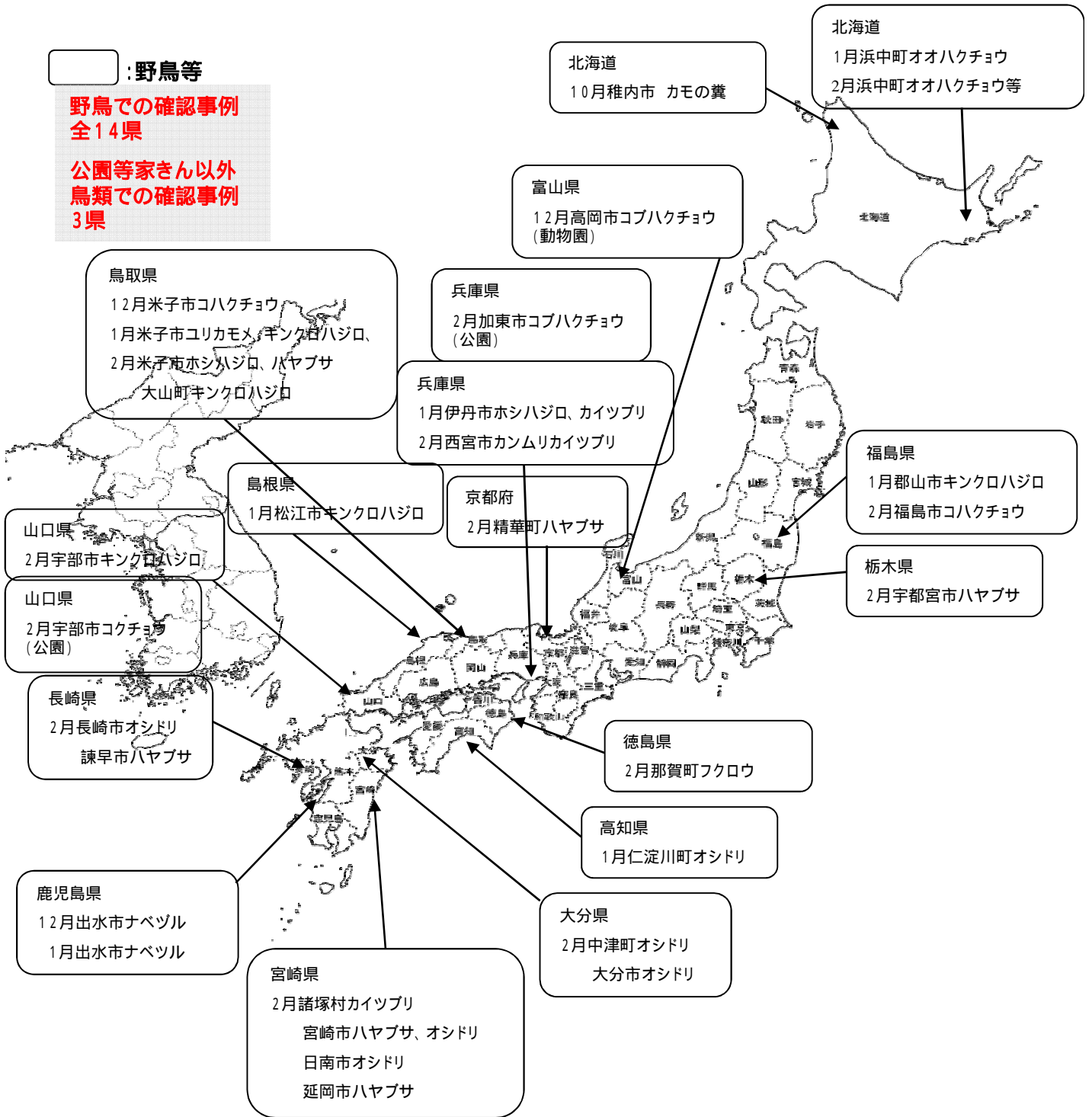
**奈良県**  
2月28日五條市：鶏(採卵)約10万羽  
3月7日 防疫措置完了

**宮崎県**

1月22日宮崎市：鶏(種鶏) 10,240羽、	1月24日防疫措置完了、	2月15日移動制限解除
1月23日新富町：鶏(採卵) 約66,000羽、	2月2日防疫措置完了、	2月24日 移動制限解除(園地全体約41万羽)
1月27日都農町：鶏(肉用) 10,400羽、	1月29日防疫措置完了、	2月20日移動制限解除
1月28日川南町：鶏(肉用) 92,000羽、	1月31日防疫措置完了、	2月22日移動制限解除
1月28日延岡市：鶏(肉用種鶏)6,600羽、	1月30日防疫措置完了、	2月21日移動制限解除
1月30日高鍋町：鶏(肉用) 39,200羽、	2月1日防疫措置完了、	2月23日移動制限解除
2月1日宮崎市：鶏(肉用) 190,000羽、	2月4日防疫措置完了、	2月26日移動制限解除
2月4日高千穂町：鶏(肉用)59,000羽、	2月6日防疫措置完了、	2月28日移動制限解除
2月5日都農町：鶏(肉用)約88,000羽、	2月7日防疫措置完了、	3月1日移動制限解除
2月5日門川町：鶏(肉用)約30,000羽、	2月7日防疫措置完了、	3月1日移動制限解除
2月7日宮崎市：鶏(肉用)約33,000羽、	2月8日防疫措置完了、	3月2日移動制限解除
2月17日延岡市：鶏(肉用)約20,000羽、	2月17日防疫措置完了、	3月11日移動制限解除
3月5日門川町：鶏(肉用)約33,000羽、	3月7日防疫措置完了	

現在、性状を検査して判明しているものについては、全てH5N1亜型(強毒)です。

# 日本における高病原性鳥インフルエンザの確認状況 《H22年10月～：野鳥等》



**現在、性状を検査して判明しているものについては、全てH5N1亜型(強毒)です。**